



高木 広和 議員

**問** 予定地での建設は減災の方  
向とは異なると思うが。

**答** 環境部長  
河川専門のコンサルタント  
の調査結果から施設建設に伴  
う周辺等の影響はないと判断  
し、報告もさせていただいて  
います。

**問** 平成25年の台風18号は何年  
確率の豪雨災害か。

**答** 環境部長  
地先の安全度マップと比較  
し、県が示されている10年  
確率に近い浸水水位であつた  
と確認をしています。

### 新たなゴミ処理施設の 建設について

**問** 浸水時の流れの影響で施設  
が破壊されたり傷んだりす  
ると思うが。

**答** 環境省の基準に基づき必要な対策を取ること  
から、影響はないと考えています。

**問** 豪雨災害への考え方や対応  
について、国の変化を感じて  
いるか。

**答** 環境部長  
ごみ処理施設の整備につい  
ては、災害に耐えうる対策の  
強化、対応力の向上が求めら  
れていると感じています。

**問** 予定地は浸水リスクが高島  
で一番高い場所と認識され災  
害が起きる可能性もあるとさ  
れている。防災と減災の観点  
から災害リスクの高い所に新  
しいものを造らないことが防  
災であり、災害に対して現在  
危険と思われる事を最小限度

におさえることに努めるのが  
減災ではないか。

**答** 環境部長  
しっかりとリスクを想定し  
て対策を取り、整備をしてい  
きます。

**問** 浸水時の流れの影響で施設  
が破壊されたり傷んだりする  
と思うが。

**答** 環境部長  
施設の浸水想定水位までR  
C造とするなど、環境省の基  
準に基づき必要な対策を取る  
ことから、影響はないと考え  
ています。

**問** 地球温暖化の気候変動によ  
り、気象庁によると1時間降  
水量50ミリ以上の年間発生回  
数が2.7倍になることも予想  
されている。このような外力  
に対して財政的にも社会環境、  
自然環境からも現実的ではな  
いという考えもある。国土交通  
省の「新たなステージに対応  
した防災・減災のあり方」を  
どう読み取られているか。

**答** 環境部長  
施設整備の計画は国土交通  
省の定めたマニュアルに基づ  
いており、また滋賀県が公表  
されている最大規模の浸水に  
対応できる施設整備を行って  
いきます。

